

14人にコーディネーター委嘱

## 住民構想を支援へ

ら引き出し、会議の円滑な実施などで解決や実施に導くのが役割。

公募で選ばれた14人は、事業の事務局を担当している「地域公共人材開発機構」(伏見区)から委嘱状を受け取った。委嘱は来年3月末まで。

(松田ゆい)

### エコ学区事業進めよう



平成23年9月17日(土) 京都新聞 朝刊

コーディネータオリエンテーション

地域単位で環境に優しい活動を先進的に行なう京都市の「エコ学区」事業で、住民の構想を支援するコーディネーターの認定式がこのほど、伏見区の龍谷大深草学舎で開かれた。環境問題のシンクタンクの職員や公共政策の大學生ら14人が委嘱を受けた。同事業は本年度から

始まり、有隣学区(下京区)や藤城学区(伏見区)など14学区が、都市伏見区・龍谷大深草学舎

委嘱状を受け取る「エコ学区」事業のコーディネーター(右)=京都市伏見区・龍谷大深草学舎